

「やまがた木育」推進の取組みについて

県では、森や木に「触れる」「創る」「知る」という3つの活動を通して、森林の文化や木を活かす暮らしの大切さを理解できる人を育む「やまがた木育」を推進しています。

今年度は、森林をはじめとする自然に普段触れる機会の少ない市街地にお住まいの方々を対象として、やまがた木育を体験するイベント「やまがた木育プログラム体験会」を県内各地の図書館や商業施設、子育て支援施設等計14か所で実施しました。

この体験会では、実物の葉や木材に触れながら樹木の生きている樹としての役割、そして木材としての役割についてクイズ形式を交えながら実施しました。



クイズの様子



サンドペーパーの使い方に興味深々



葉っぱをしっかりと観察しました

それぞれの体験会で講師を担当していただいたのは、やまがた木育人材養成講座【スキルアップ】修了者の皆さんで、様々な所属の方々から各々の背景に基づいた十人十色の伝え方で森林・自然の大切さ・面白さ、サンドペーパーの使い方等を指導していました。回を重ねるごとに、講師の方々は、参加者の理解を深めるために手作りの道具や話し方等に工夫を重ねていて、事務局としても驚きの連続でした。

参加された方々は、本物の葉や木材に触れることで、それぞれの樹種の見分け方や重さの違いを五感を通じて学んでいました。この体験が子どもたちの記憶に刻まれ、山形県の森林・自然に興味を向けるきっかけとなっていれば嬉しいです。

また、9月には元岐阜森林文化アカデミー教授松井勅尚氏及び岐阜森林文化アカデミー非常勤講師吉田理恵氏を講師として迎え、やまがた木育人材養成講座【スキルアップ】を開催しました。講座では、スプーン作りを通してやまがた木育の伝え方、サンドペーパーの使い方等を2日間かけて学びました。

令和6年度は、10名の方がやまがた木育人材養成講座【スキルアップ】を修了し、10月からは講座で学んだことを活かしながら早速体験会で講師として実践を積んでいただきました。

これからも新たな担い手を増やしながら、やまがた木育が県内に普及・浸透するよう努めて参ります。



様々なサンプルに触れながら
樹種ごとの違いを学びます



サンドペーパーの使い方の
指導方法を説明



個性豊かなスプーンが
完成しました!!

やまがた森の感謝祭2024の開催について

県では、6月の第1土曜日を「やまがた森の日」と定め「やまがた森の感謝祭」を開催しています。今年度は、6月1日に川西ダリヤ園において「育てよう 緑で広がる 地域の輪」をテーマに、緑の少年団や地元の小学校のほか、森林・林業関係者など約300名が参加し開催しました。当日は、



森づくり宣言

森づくり成果の見える化として山形県CO₂森林吸収量認証書授与のほか、地元の川西町立小松小学校の児童6名と副知事、モンテディオ山形のディーオ君による「森づくり宣言」も行いました。式典の後は、参加者全員で山形トヨペット株式会社からご提供いただきました松くい虫に対して抵抗性があるアカマツのコンテナ苗450本と、置賜地域の緑の少年団の皆さんが大切に育ててきたモミジのポット苗29本の植栽作業を体験しました。

やまがた緑環境税評価・検証委員会の開催について

県では、やまがた緑環境税を活用した事業を効果的に進めるため、「やまがた緑環境税評価・検証委員会」を設置し、やまがた緑環境税を活用した事業の評価・検証や施策の見直しの協議等を行っています。

今年度は、第1回目の委員会を村山地域において8月27日に開催しました。会議では、令和5年度のやまがた緑環境税活用事業の実績、令和6年度の事業概要について説明を行い、委員の方々からご意見をいただきました。また会議の後は、村山地域の税を活用した再生林や間伐の実施状況及び団体による地元小学校と連携した森づくり活動について現地視察もしていただきました。



山形市妙見寺での再生林地確認

森林ノミクス県民会議

県では、「やまがた森林ノミクス推進条例（山形県の豊かな森林資源を活用した地域活性化条例）」に基づき、豊かな森林資源を活用した地域の活性化に関する施策を県民総参加で推進するため、国、市町村、森林所有者、林業事業者、木材産業事業者、建築関係事業者、観光関係事業者等その他の関係者が、意見を交換し、相互に協力する「やまがた森林ノミクス県民会議」を設置しております。

今年度は、10月15日に山形県建設会館で県民会議を開催し、7月の大雨による被害の状況やこれから「やまがた森林ノミクス」に期待することについて意見が寄せられました。

今後も本会議をはじめ多角的な視点からのご意見をいただきながら、「やまがた森林ノミクス」のさらなる加速化に向けて取り組んでまいります。



知事あいさつ



会議の様子

各総合支庁の事業

村山

むらやま木育活動

村山総合支庁では、木に触れる体験を通じて木の良さや木を使う事の大切さを伝える木育活動を進めています。

これまで、子育て支援施設等で木材と触れ合うプログラムを実施してきましたが、今年度は新たに、県民の森で森林散策を行いながら木工で使用する木材の樹木を観察し、生きている樹木と木材を結び付けて学ぶ木育を実施しました。

今後もむらやま木育を広く普及し、森や木を学ぶ機会をつくっていきます。



県民の森での木育プログラム

最上

森の案内人養成講座開催

遊学の森の活動を支える森づくりリーダーを育成するため、高校生以上の県民を対象に、森づくり活動や自然環境教育等の指導者として必要な基礎知識と技術の習得を目指す『森の案内人養成講座』を開催しました。

年間を通して開館している遊学の森の特色を活かし、春はもがみの山菜講座と安全研修、夏は葉っぱで知る樹木講座と森の生きもの講座、秋はブナの森自然講座と森のクラフト講座、冬は雪の観察講座等、季節に合わせて講座を行っています。



森の生きもの講座



ブナの森自然講座

置賜

源流の森インタープリター養成講座

飯豊連峰の麓に位置する源流の森において、豊かな森林や自然環境を活用した体験学習の基礎知識を習得するとともに、源流の森等で活動できる指導者の育成・確保を目的として、インタープリター養成講座を開催しました。全3回の講座のなかで、森林散策や木工クラフト等を体験し、置賜地域で行われている森づくり活動等について学びました。

今後も森林や自然環境に関する知識を深められるような講座を開催していきます。



ブナ林での森林散策の様子

庄内

出羽庄内公益の森づくり事業

庄内海岸林は、先人が公益の精神に基づき造成してきた地域の財産です。本事業では、庄内海岸林を健全な状態で次世代に引き継いでいくため、「出羽庄内公益の森づくりを考える会」を開催し、関係団体間の情報交換や、庄内海岸林のゾーニングの見直しを行いました。

また、住民参加の森林ボランティア活動の開催や、小・中学校等における海岸林の歴史や松くい虫被害に関する学習及び森林整備体験活動等への支援等を行うことで、森づくりへの理解を広げています。



小学校での森林整備体験活動



出羽庄内公益の森づくりを考える会



やまがた緑環境税のPR活動について

県では、「やまがた緑環境税」の趣旨や用途等、制度全体の仕組みのほか、やまがた緑環境税を活用した取組みについて県民の皆様にも周知を図るとともに、森づくりの大切さについて理解を深めていただくため、各種イベントや普及啓発活動を行っています。

森と人をつなぐ情報誌「もりしあ」の発行

やまがた緑環境税を活用した事業や森と人との関わりを親しみやすい内容で紹介しました。

より多くの県民の皆様にお読みいただくため、県内各地の公共施設や金融機関、ショッピングセンター等で配布しました。



「もりしあ」は
県ホームページから
ご覧になれます



山形県 もりしあ

新聞への掲載

新聞広告を5、7、8、9、10、12月の6回掲載し、普及啓発を行いました。

【5月4日山形新聞】



パネルの展示

県立図書館や各地のイベント会場でやまがた緑環境税の制度や活用事業を紹介するパネル展示を行いました。



県立図書館



kitokitoマルシェ (新庄市)

YouTube・Instagram 広告の活用

県民みんなで支える森づくりの機運を醸成するとともに、若年層のやまがた緑環境税の認知度向上のため、Instagramを活用したハッシュタグキャンペーンを実施しました。森づくり活動等の写真に「やまがたみどりアクション」のハッシュタグを付けて投稿していただき、「いいね」で応援し合うものです。

キャンペーン期間中は、InstagramのほかYouTubeでも広告動画を掲載しました。

やまがた緑環境税のInstagramでは、税を活用した取組み等を日々発信していますので、ぜひフォローしてご覧ください。

やまがた緑環境税
Instagram



YouTube広告



みどり自然課
YouTube



やまがた森林と
緑の推進機構 HP

チャンネル登録もよろしくお願いします!